

北海道室蘭聾学校

室蘭市水元町56-24

TEL. (0143-44-1221)

FAX (0143-44-1208)

メール [muroranrou-z0@hokkaido-c.ed.jp](mailto:muroranrou-z0@hokkaido-c.ed.jp) ホームページ <http://www.muroranrou.hokkaido-c.ed.jp>



# 学校だより



令和7年度

第1号

令和7年  
(2025年)  
4月8日発行

## 「天動説」から「地動説」へ

北海道室蘭聾学校長 宇野 宏之祐

【要旨】校長の宇野宏之祐は、「チ。-地球の運動について-」というアニメに感動し、それが地動説を信じる者たちの物語であることに触発されました。令和7年度の学校経営方針として、①継続してきたことをゼロベースで再検討する、②保護者や地域への教育活動の魅力発信を強化する、③室蘭だけでなく苫小牧や日高管内全域を含めた地域の難聴児の支援を検討する、という方針を示しました。具体的には、教職員からの提案を積極的に取り入れること、SNSを活用した情報発信を行うこと、「通級による指導」の試行を行うことです。これらの取組により、従来の学校中心の思考「天動説」から、広域な地域を中心に学校の役割を考える「地動説」への意識転換を目指しています。

※下記の原稿をAI (Microsoft Copilot) に読み込ませ要約させています。(若干の手直しを行っています)

先日、ある動画サイトで「チ。-地球の運動について-」というアニメを視聴し、大いにハマってしまいました。原作は、2022年4月に連載が終了となった漫画ですが、タイトルにインパクトがあったこともあって、私も以前からその存在自体は知っていました。

この漫画は、迫害などの逆境に立ち向かいながら地動説の説明に自らの信念と命を懸けた者(たち)の物語です。視聴し始めた頃は、主人公を変えながらのオムニバス形式で語られていくストーリーのように思えたのですが、地動説を信じるそれぞれの主人公の言葉や存在が色々な形で繋がり、時を経ながら影響を与えたり繋がったりしていくストーリーの中で、主人公たちの「生き様」に触れていくというとても壮大な内容となっていました。公宅で一人アニメを見ながら目を潤ませている校長。とても教職員や子供たちには見せられたものではありませんが、仕方ありません。それが私なのでから。

さて、私が本校に着任して2年目となる令和7年度、学校教育目標に変更は加えませんでした。学校経営を進める上で、①これまで継続してきたことであっても、その妥当性や継続の必要性について一旦ゼロベースで検討すること、②「良い実践をしていけば分かってくれる」に留まらず、本校の教育活動の魅力が保護者や地域に確実に届けられるようにする、③本校にとっての「地域」は、所在地である室蘭近隣だけではなく、苫小牧や日高管内全域にもわたることを踏まえ、「地域」の難聴児のために出来ることを検討する、などを重視することについて教職員に伝えました。

具体的には、令和7年度は、①教職員からの「こんなことをしてみたい」といったボトムアップ的な案を推奨する、②SNSを活用した情報発信を検討する、③室蘭市内在住の難聴児に対する「通級による指導」を試行的に実施するとともに、苫小牧近隣に対する教育相談を充実させる、などの取組を行います。

本校を含む「聾学校」ではこれまで、聾学校に就学(入学)した子供を一生懸命教育する。そのために聾学校での教育が必要と思われる子供たちをできるだけ多く在籍させる。そのために地域や関係機関に対する理解啓発や関係づくりを行うといった、学校を中心とした思考が主流だったように思います。しかし、人力では如何ともし難い「聾学校までの距離や移動時間」といった物理的な問題を乗り越え、本校が本校であり続けるためには、広域な地域の中の室蘭聾学校という原点に立ち返り、広域な地域における本校の役割を考えるという思考が必要となっているように思います。まさに学校を中心に地域を考える「天動説」から、広域な地域を中心に考えながら学校の役割を考える「地動説」への意識の転換です。

10数年前に私が道立特別支援教育センターで勤務していた頃、当時の室蘭聾学校長から、「苫小牧市にサテライト教室を置くことはできないか」といった案が出ているという情報を耳にしたことがあります。当時のこの案は、結果的に立ち消えになってしまったようですが、時を経て再び「通級による指導」や苫小牧近隣への教育相談の充実を図ろうということになったのは、主人公が説いた地動説というバトンが次の主人公へと繋がっていくアニメの内容とも重なるようにも思えてしまいました。

# 1学期の主な予定

**4月** 9日(水) 岩崎電子来校  
10日(木) 歯科検診  
11日(金) 開級式(乳)  
入学・進級を祝う会(中)  
14日(月) 新しい友達を迎える会(小)、  
尿検査(1次)  
16日(水) さくら補聴器来校  
18日(金) 歓迎会(幼)  
22日(火) 眼科検診  
23日(水) 避難訓練、心電図検査(小1、中1)  
25日(金) 参観日、三者懇談  
**28日(月) 夏季休業日**



**5月** 7日(水) 全校朝会  
8日(木) 役員会、耳鼻科検診  
12日(月) 交通安全週間①、尿検査(2次)  
14日(水) 遠足(小) \*予備日は21日(水)  
岩崎電子来校  
15日(木) 第1回児童生徒総会、遠足(幼)  
16日(金) 交通安全教室  
21日(水) さくら補聴器来校  
23日(金) 内科検診  
27日(火) 尿検査(3次)

**6月** 2日(月) 夏季休業日  
7日(土) 運動会 **\*9日(月) 振替休業日**  
11日(水) 全校朝会、岩崎電子来校  
13日(金) 家庭教育学級  
17日(火) 尿検査(4次)  
18日(水) 前期中間テスト(中)、さくら補聴器来校  
20日(金) プール(幼)  
26日(木) ~27日(金) 宿泊研修(中)  
27日(金) プール(幼)  
**30日(金) 短縮日課**



**7月** 2日(水) 全校朝会  
3日(木) ~4日(金) 修学旅行(小)  
9日(水) 室ろっ子祭り 岩崎電子来校  
11日(金) 夕すずみ会(幼)、プール(小・中)  
16日(水) さくら補聴器来校  
18日(金) プール(小・中)  
22日(火) 美化週間(~25日)  
24日(木) 大掃除  
25日(金) 1学期終業式



## 新転任者のあいさつ

### 教頭 青木 淳(あおき じゅん)

美唄養護学校から着任しました教頭の青木 淳と申します。元気で明るい室ろっ子、そして保護者の皆様と「ここ水元の学舎(まなびや)」で紡いでいく日々をととても楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

### 教諭 高橋 香織(たかはし かおり)

室蘭養護学校から赴任しました高橋香織です。春は出会いの季節、楽しみにしていました。毎日の学習、いろいろな行事、普段のおしゃべりなどを通して、みなさんのことを知りたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

### 教諭 福原 千絵(ふくはら ちえ)

函館聾学校から来ました福原千絵です。「よく笑い、よく遊べ」をモットーに、子どもたちと一緒に遊び、学び、成長していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

### 教諭 野中 佳菜(のなか かな)

育児休業から復帰しました、野中です。久しぶりの早起きに緊張感のある毎日を送っています。新年度で、私も子ども達もわくわくドキドキだと思えますが、楽しく過ごしていきたいです。よろしくお願いいたします。

### 主任主事 小泉 有希(こいずみ ゆき)

教育庁教職員課職員制度室から来ました小泉です。育児休業から復帰しました。初めての学校勤務が楽しみです。よろしくお願いいたします。

### 寄宿舍指導員 笠井 恵(かさい めぐみ)

はじめまして。笠井恵です。早く手話を覚えてみなさんと楽しいお話をしたいです。よろしくお願いいたします。

### 個人情報取り扱いに関するお願い

子供たちの個人情報を守るために、校内での写真・動画撮影を御遠慮いただいております。学習発表会等の行事は撮影可能です。家庭でお楽しみください。この場合も、お子様の安全を守ることと、他の幼児児童生徒の個人情報流出防止の観点から、SNS等への掲載は御遠慮ください。御理解の程よろしくお願いいたします。